

本部活動報告

はしがき

今ヨ、ニナス報告ハ昨年八・三〇暴壓以前ノ分ハ一切記録カナクタ
ゞ覺書キニヨルニスギズ亦其ノ后ト雖ドモタゞ陣營ノ整備ト二三ノ
爭議等ノ總活的報告ニ止メテ置ク
昭和七年一月本部ハ電燈料値下ゲ運動ヲ起スベク先ズ片桐支部ニ指
令シテ不納同盟ヲ組織シ値下ゲ運動ノ第一歩ヲ踏出し續イテ西穴關
東ノ坂、襟ノ本、高田、上牧、鴨公等ノ合流ヲ得テ、カツテナキ値
下ゲ運動ヲ展ジタ。
二月、三月ハ各地ニ於テ値下ゲ運動ノアジプロ及ビ二三ノ爭議ノ指
導ニスギタ。
四月五條ノ吉村製糸爭議ノ後授トメーデー準備闘争ニ終始シタ。
五月メーデーハ字智、高市、生駒ノ三箇所ニテ決行シ七百五拾名ヲ
動員シタ。

六月、七月各地電争ノ積極的指導及ビ片桐ニ起レル斷線ニ對シ四百
餘名ヲ動員シテ大衆的交渉ヲ行ヒ斷線ヲ取り消サシメタ。
八月片桐電争解決シコノ條項ハ六ヶ月間三割ノ棒引爭議費用六百五
拾圓ノ會社負擔シ。
九月以降八・三〇ノ縣下各地ニ於ケル大量的檢舉ニ支部本部活動ハ
一切停止サレ僅ニ本部事務所ノ殘骸ヲ留メルニスギナイ状態ノ下ニ
七年ハ終リテ告ゲタ。

七年度ニ於ケル若干ノ批判

電争ニ於テ今迄ニ見ザル大衆ヲ動員シ亦ソレガ直チニ不納ニマデ發
展セシメナガラ有利ナ條件ト未組織大衆ノ奮起セルヲ組織ニマデ高
メル事カ出來ナカツタ吾等ハ此ノ點ニ就テ先ズ第一ノ欠點ハ人ノ無
イ事ヲ謂ハネバナラヌ。事件屋の人物ハ多數アレド眞實無産者ノ日
常利益擁護ヲ目的トスル人ノ僅少ナ事ヲ舉ゲル一例トシテ片桐支部
ニ於テ好條件ヲ得ナガラ他方ニ於テナサレナイノハ何故カ、前記述